

連携項目 (7項目)	区分 (11区分)	事業 (21事業)	取組内容の概要	KPI					進捗状況	備考	関係市町
				指標	基準値 (時点)	現状値 (時点)	目標値 (時点)				
(1) 生活機能の強化											
ア 医療				【数値目標】 ドクターヘリの 圏域内カバー率	100% 2018 (H30) 年	100% 2020 (R2) 年度	100% 2023 (R5) 年	KPIが目標を達成 (維持) している。		全市町	
	①初期救急医療 体制の充実	夜間急病センター の運営支援	関係市町が連携し、函館市夜間急病センターに対する運営支援を 行う。	函館市夜間急病 センター開設日 数の維持	365日 2017 (H29) 年度	365日 2020 (R2) 年度	365日 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成 (維持) している。		北斗市 七飯町	
	②広域救急医療 体制の充実	ドクターヘリの運 航支援	圏域全体を対象としたドクターヘリの運航支援を行うほか、必要な施設 整備を行う。H27.2.16運航開始。	事前選定冬季間 使用可能ランデ ブーポイントの 箇所数	50箇所 2018 (H30) 年度	54箇所 2021 (R3) . 4. 1	R5>H30 2023 (R5) 年度	現状値が54箇所と基準値 に対し、+4箇所となっ ており、KPIが目標値 (向 上) に向けて順調に推移 している。		全市町	
		二次救急医療体制 の確保・維持	関係市町が連携し、圏域で行われる病院群輪番制に参加する医療機 関に対する運営支援を行う。	参加病院数	11病院 2018 (H30) 年度	10病院 2021 (R3) . 4. 1	11病院 2023 (R5) 年度	現状値が10病院と、基準 値に対し、▲1病院となっ ており、KPIが目標値 (維 持) を下回っている。	R2年度は11病院であった が、1病院が新型コロナ ウイルス感染症対応病棟 を設けたことにより輪番 参加を取りやめた。	北斗市 七飯町	
		脳疾患救急搬送体 制の 運営支援	脳疾患救急患者の中心市基幹病院への搬送体制を支援を行う。	中心市の受入医 療機関数	3病院 2017 (H29) 年度	3病院 2020 (R2) 年度	3病院 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成 (維持) している。		江差町・上ノ国町 厚沢部町・乙部町	
		医療情報共有化の 推進	連携市町の医療機関 (町立病院等) に情報共有のための設備 (サーバー等) を設置し、中心市の基幹病院との間における医療 情報の共有を推進する。	利用医療機関数	5病院、5診療所 2017 (H29) 年度	5病院、5診療所 2020 (R2) 年度	5病院、5診療所 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成 (維持) している。		江差町・上ノ国町 厚沢部町・乙部町 奥尻町	
	③医療従事者の 確保・養成	救急救命士病院実 習の 実施	圏域内の中核病院等において、救急救命士病院実習を実施するこ とにより、救急救命士の技術・能力の維持・向上を図る。	圏域内の救急救 命士の有資格者 数	269人 2018 (H30) 年度	304人 2021 (R3) . 4. 1	R5>H30 2023 (R5) 年度	現状値が304人と、基準 値に対し、+35人となっ ており、KPIが目標値 (向 上) に向けて順調に推移し ている。		全市町	
		理学療法士および 作業療法士の養成 支援 <令和2年度新規 登載事業>	函館市医師会看護・リハビリテーション学院への運営支援を行う ほか、奨学金による学生への支援により、圏域内における理学療 法士および作業療法士の養成・確保を図る。	卒業生の圏域内 における理学療 法士および作業 療法士としての 就職率		-	R5>R4 2023 (R5) 年度	-		全市町	
イ 福祉	①障がい者福祉 の充実	障害者地域生活支 援事業の推進	障害者総合支援法に基づき障がい者の自立と社会参加を促進する ため、基幹相談支援センター事業、手話・要約筆記者等派遣事 業、地域活動支援センター事業など各種相談・支援事業を社会福 祉法人やNPO法人等に委託し実施する。	基幹相談支援セ ンターにおける 相談支援人数	695人 2017 (H29) 年度	1,284人 2020 (R2) 年度	R5>H30 2023 (R5) 年度	現状値が1,284人と、基準 値に対し、+589人となっ ており、KPIが目標値 (向 上) に向けて順調に推移 している。		北斗市 七飯町	

連携項目 (7項目)	区分 (11区分)	事業 (21事業)	取組内容の概要	KPI					進捗状況	備考	関係市町
				指標	基準値 (時点)	現状値 (時点)	目標値 (時点)				
(1) 生活機能の強化											
ウ 産業振興				【数値目標】 圏域内の観光入込客数	1,274万人 2017 (H29) 年度	794万人 2020 (R2) 年度	1,453万人 2023 (R5) 年度	現状値が791万人と、基準値に対し、▲480万人となっており、KPIが目標値(向上)を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。	全市町	
	①広域観光の推進	広域観光推進に係るプロモーション活動およびイベント等の実施	国内外の観光客誘客促進を図るため、各種プロモーション活動およびPRイベントを実施する。道の駅や観光交流施設を活用し、PRを実施する。	プロモーション活動実施回数	国内177回、 海外19回 2017 (H29) 年度	累計(延べ) 国内248回、 海外18回 2019 (R1) 年度 ~ 2020 (R2) 年度	累計(延べ) 国内900回、 海外100回 2019 (R1) 年度 ~ 2023 (R5) 年度	現状値で進捗率が国内は68.8%、海外は45.0%となっており、いずれも目標値を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。	全市町	
	②滞在型観光の促進	滞在型観光メニューの共同開発	各市町が連携し、それぞれの特色を活かした滞在型観光メニューを開発する。	観光入込客数に占める宿泊者数の割合	32.2% 2017 (H29) 年度	23.6% 202 (R2) 年度	R5>H29 2023 (R5) 年度	現状値が23.6%と、基準値に対し、▲8.6%となっており、KPIが目標値(向上)を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。	全市町	
	③地場産業の育成	販路開拓支援	国内外の百貨店や食品スーパーにおける物産展やフェア等の開催、函館市アンテナショップの運営等の事業をとおり、圏域内の企業の販路開拓を支援する。	物産展・フェアの開催回数	10回 2017 (H29) 年度	12回 2020 (R2) 年度	10回 2023 (R5) 年度	KPIが目標を達成(向上)している。		全市町	
		創業支援の推進	函館市、北斗市および七飯町が相互に連携をとり、(公財)函館地域産業振興財団とともにビジネスプラン作成スクール等の創業支援事業を実施する。	創業者数	累計60件 2015 (H27) 年度 ~ 2017 (H29) 年度	累計61件 2019 (R1) 年度 ~ 2020 (R2) 年度	累計245件 2019 (R1) 年度 ~ 2023 (R5) 年度	現状値で進捗率が62.2%となっており、KPIの目標値を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる。	北斗市 七飯町	
	先進技術の開発・利用促進および高度技術の普及支援	(公財)函館地域産業振興財団が実施する地域企業の技術の高度化に資する先進技術の研究開発および高度技術の普及等に係る事業を支援する。	圏域内企業を対象とした個別相談実績	平均388件 2014 (H26) 年度~ 2018 (H30) 年度	累計1,405件 2019 (R1) 年度 ~ 2020 (R2) 年度	累計1,950件 2019 (R1) 年度 ~ 2023 (R5) 年度	現状値で進捗率が72.1%となっており、KPIが目標値に向けて順調に推移している。		全市町		
(2) 結びつきやネットワークの強化											
ア 地域公共交通				【数値目標】 乗合バス事業収支率	71.7% 2017 (H29) 年度	57.6% 2020 (R2) 年度	81.1% 2023 (R5) 年度	現状値が57.6%と、基準値に対し、▲14.1%となっており、KPIが目標値(向上)を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。	全市町	
	①圏域内における公共交通手段の維持および確保等	第三セクター鉄道への支援	五稜郭~木古内間における第三セクター鉄道への支援を連携して行う。	1日の運行本数(上下計)	37本 2017 (H29) 年度	36本 2020 (R2) 年度	37本 2023 (R5) 年度	現状値が36本と、基準値に対し、▲1本となっており、KPIが目標値(維持)を下回っている。	利用者減少による運行ダイヤの見直し。	北斗市 木古内町	
		生活バス路線の維持・確保	圏域内を結ぶ路線バス等の生活路線の維持・確保を図るため、運行事業者に対する支援等を行う。	路線バスの利用者数の増減率(A)と人口増減率(B)の差	A(+1.6%) > B(▲1.35%) 2017 (H29) 年度	A(▲26.8%) < B(▲1.52%) 2019 (R1) 年度	A≥B 2023 (R5) 年度	路線バスの利用者数の対前年度増減率が現状値で26.8%減少し、人口の対前年度増減率の1.52%減少よりも増加率が低く、KPIが目標値(向上)を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。	全市町	
	JR函館本線沿線の地域公共交通の維持・確保<令和2年度新規登録事業>	2030年度末に予定されている北海道新幹線の札幌開業に伴い、JR北海道から経営分離される函館本線沿線の地域公共交通の確保等に向けた取組を行う。	JR北海道から経営分離される函館本線沿線の地域公共交通の維持・確保に向けた取組の実施	2020 (R2) 年度に実施した取組	幹事会:1回 ブロック会議:2回 函館線(函館・小樽間)旅客流動調査 将来需要予測収支予測調査事業 委託調査実施 2020 (R2) 年度	取組が継続されていること 2023 (R5) 年度	-		北斗市 七飯町 鹿部町 森町 八雲町 長万部町		

連携項目（7項目）	区分（11区分）	事業（21事業）	取組内容の概要	KPI					進捗状況	備考	関係市町
				指標	基準値（時点）	現状値（時点）	目標値（時点）				
（2）結びつきやネットワークの強化											
イ 道路等の交通インフラの整備				【数値目標】道路整備期成会要望活動回数	4回 2017(H29)年度	4回 2020(R2)年度	4回 2023(R5)年度	KPIが目標を達成（維持）している。		全市町	
	①圏域内における交通ネットワークの形成	道路整備期成会活動の促進	圏域内における基幹道路等、交通インフラ整備促進のための道路整備期成会活動を促進する。	道路整備期成会の組織数	4期成会 2017(H29)年度	4期成会 2021(R3)4.1	4期成会 2023(R5)年度	KPIが目標を達成（維持）している。		全市町	
ウ 地域内外の住民との交流・移住促進	①圏域における国際化の推進			【数値目標】外国人住民の人数	2,029人 2018(H30)年	2,726人 2021(R3)4.1	R5≥H30 2023(R5)年	現状値が2,726人と、基準値に対し、+697人となっており、KPIが目標値（向上）に向けて順調に推移している。		全市町	
		留学生等受入体制の整備	国際交流団体等が主催する事業に対するサポート体制を構築する。	外国人住民で在留資格等の区分が「留学」の人数	126人 2018(H30)年	83人 2021(R3)4.1	R5>R2 2023(R5)年	現状値が83人と、基準値に対し、▲43人となっており、KPIが目標値（向上）を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。	全市町	
		外国人観光客誘客による地域国際化	外国人観光客の受入体制充実を図り、交流人口の拡大に努めながら、地域の国際化を推進する。	外国人宿泊客数	約59万人 2017(H29)年度	約0万人 2020(R2)年度	R5>H29 2023(R5)年度	現状値が約0万人と、基準値に対し、▲59万人となっており、KPIが目標値（向上）を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。	全市町	
（3）圏域マネジメント能力の強化											
ア 人材育成等	①職員の合同研修等の実施			【数値目標】合同研修参加自治体数	17自治体 2017(H29)年度	0自治体 2020(R2)年	18自治体 2023(R5)年度	現状値が0自治体と、基準値に対し、▲17自治体となっており、KPIが目標値（向上）を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。（研修中止）	全市町	
		職員研修に係る情報共有および合同研修の実施	圏域全体で職員研修に係る情報を共有するとともに、圏域市町職員の資質向上を図るための合同研修を実施する。	合同研修の参加者総数	295人 2017(H29)年度	0人 2020(R2)年度	295人 2023(R5)年度	現状値が0人と、基準値に対し、▲295人となっており、KPIが目標値（維持）を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。（研修中止）	全市町	
		高等教育機関との連携による地域マネジメント能力の向上	地域の市町の職員や住民等の参加のもと、中心市に所在する高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取り組みを実施することで、職員の地域マネジメント能力の向上を図る。	各プログラムにおける地域職員等の平均参加者数	35人 2017(H29)年度	0人 2020(R2)年度	50人 2023(R5)年度	現状値が0人と、基準値に対し、▲35人となっており、KPIが目標値（向上）を下回っている。	新型コロナウイルス感染症の影響による。（事業中止）	江差町	